

## 第2回夢洲まちづくり構想検討会 開催概要

### 1 日 時

平成27年2月9日（月曜日） 9:30～10:30

### 2 場 所

大阪市役所 5階 特別会議室

### 3 出席者

公益社団法人関西経済連合会理事（※代理）	阿部 孝次
一般社団法人関西経済同友会事務局長	齊藤 行巨
大阪商工会議所専務理事	宮城 勉
大阪府府民文化部長	大江 桂子
大阪府商工労働部長	津組 修
大阪市経済戦略局長	井上 雅之
大阪市都市計画局長	川田 均
大阪市港湾局長	徳平 隆之

### 4 次 第

- (1) 新委員のご紹介
- (2) 夢洲まちづくり構想検討経過について
- (3) 夢洲まちづくり構想（案）中間とりまとめについて
- (4) 意見交換

## 5 議事要旨

- 大阪の成長の方向性や、ベイエリアの現況・課題を踏まえ、新たな観光拠点を盛り込んだ夢洲地区の果たすべき役割、それらに基づくゾーニングとまちづくりの進め方などについて、「夢洲まちづくり構想（案）中間とりまとめ」に基づき活発な意見交換がされた。
- 今後の検討を進めるにあたって以下の意見があった。

### 【観光機能】

- 夢洲の観光拠点化を進めるうえで、観光政策などのソフト面の検討が非常に重要である。
- 新たな観光拠点の非日常性を担保する景観やゾーニングに工夫が必要である。
- 観光客に大阪のみならず関西各地域を訪問していただくための具体的なしくみや、咲洲や舞洲をはじめとする周辺との機能分担の視点について検討を深める必要がある。
- 都心部における「水都・大阪」との取組みとも連携を深め、その活動領域を広げていくべきである。

### 【インフラ整備】

- 交通について、夢洲の観光拠点と臨海部の周辺観光施設を繋ぐ交通手段の確保は、検討を深めるべきである。
- 道路について、既存の物流車両の滞留対策はもとより、物流交通と観光交通の動線分離は特に留意すべき検討課題である。

- 埋立について、早期の観光拠点実現に向けた埋立の一層のスピードアップは、検討を深めるべきである。
- インフラ等の整備については、観光拠点を形成する事業予定者との役割分担を見極めながら、連携して進めることが重要である。

#### 【その他】

- 新たな観光拠点の実現にあたっては、民間からの大きな投資を呼び込むことが大切である。地元として事業予定者に求める条件を経済界とともに検討するなど官民一体で取り組むべきである。
- 環境、エネルギー分野の先端技術を導入するスマートシティの実現の推進や既存の産業・物流機能も考慮し、バランスのとれたまちづくりをめざすべきである。
- 今後は、夢洲まちづくり構想を実現するための核となる事業主体者を決めていく必要があり、経済界の協力のもと官民連携しながら進めていくべきである。